

1. 指定管理者名	河川自然環境保全復元団体 リバーサイドヒーローズ
2. 指定期間	平成26年 4月 1日 ～ 平成31年 3月31日
3. 業務の範囲	(1)施設の利用に関する業務①来館者の対応②イベント、講座や展示会を企画し、実施すること③イベント、講座の申し込み受付④小学校等の総合的な学習の時間における対応⑤生き物の飼育展示及び館内での自然体験業務⑤展示物・書籍等の管理⑥ビオトープの管理⑦水槽及び付属機器の保守管理 (2)公共機関及び関連団体、自然団体や市民団体との共同事業、事業活動サポート、河川整備事業に係る助言等のサポート、連絡調整会議への出席、講師派遣の協力等を行うこと。 (3)観察館の管理運営の支援的役割を担う委員会を設置すること。 (4)自然及び文化に関する情報の収集及び提供に関すること。

採点表		評価項目		細目		配点	採点基準		実績(パーセントを求める場合は、小数点第1位を四捨五入)		分析、評価、指示等		得点	
1	運営・利用状況 (40点)	(1)利用状況(10点)	①施設の利用率(利用時間/日数×営業時間)	10	平均値比(注) 105%以上:5点、105%未満～95%:4点、95%未満～85%:3点、85%未満:2～0点	平均値比とは、当該評価対象年度の利用率を次に掲げる値で割って求めた率をいう。 (1)指定管理期間1年目 前指定管理期間における利用率の平均値 (2)2年目以降 指定期間における当該評価年の前の年の利用率の平均値(例:4年目の場合は、1～3年目の平均利用率) (3)新規施設の場合又は施設内容の大幅変更等により(1)、(2)によることが不適当であると判断される場合 他 の類似施設における利用率実績に所要の調整をして算出した値	105%以上 5点							
					平均値比(●●%)=利用率(●●%)÷上記(1)、(2)又は(3)									
		②利用人数	10	平均値比(注) 105%以上:5点、105%未満～95%:4点、95%未満～85%:3点、85%未満:2～0点	平均値比とは、当該評価対象年度の利用人数を次に掲げる値で割って求めた率をいう。 (1)指定管理期間1年目 前指定管理期間における利用人数の平均値 (2)2年目以降 指定期間における当該評価年の前の年の利用人数の平均値(例:4年目の場合は、1～3年目の平均利用人数) (3)新規施設の場合又は施設内容の大幅変更等により(1)、(2)によることが不適当であると判断される場合 他 の類似施設における利用人数実績に所要の調整をして算出した値	105%未満～95% 4点	【参考】 ★平成26年度(指定管理1年目) 平均値比104% ★平成27年度(指定管理2年目) 平均値比105.7%	8点						
				平均値比(●●%)=利用人数(延べ●●人)÷上記(1)、(2)又は(3) 上記(2)より、来館者数:平成26年度9,391人、平成27年度9,929人、平成28年度9,514人 当該評価年の前年までの平均値(9,660人)=(9,391+9,929)÷2 平均値比(98.5%)=9,514÷9,660×100										
	(2)市の事業の企画・運営・実施状況(仕様書内)(15点)	30	仕様書以上:15～12点、仕様書に忠実:11～9点、仕様書の一部不実施(軽微):8～7点、仕様書の一部不実施(中程度):6～3点、それ以下:2～0点	仕様書に年度を通じて36回以上のイベント、8回以上の講座及び10回以上の展示会を企画することとあるが、イベント企画件数44回のうち実施件数38回であった。展示会は10/10回(実施/企画)で、講座は12/12件(実施/企画)であった。(資料②-2) 小中学校への総合的な学習の時間への支援は、例年通り実施している。(資料②-3) 「国土交通省、岐阜県、多治見市などの公共機関及び関連団体に協力」する旨を仕様書に定めており、昨年度よりも多い合計756件の打ち合わせや調査協力を行っている。(資料②-4) 市に限らず市外の幼稚園への支援も実施している。(資料②-5)	仕様書以上 15点		平成28年度は仕様書に記載されたイベント以上に実施することができた。小中学校の総合的な学習の時間への支援は、昨年度同様実施しており、市内の小中学校は毎年リポートしているので、満足が高い状況といえる。川に近い小学校等はガサガサ体験を実施しているが、川まで遠い学校は移動水族館や鳥の授業などを行い、ニーズに対応している。行政機関へのサポートは昨年度と変わらず実施しており、依然として需要が高い。子どもの発育や園の状況によって、サポート内容を柔軟に変えており、昨年度と同様に実施できている。	30点						
									(3)自主事業の企画・運営・実施(15点)		内容・事業数等が期待以上:15～12点、内容・事業数等が例年通り:11～9点、内容・事業数等が例年よりやや劣る:8～7点、内容・事業数等が例年より劣る:6～3点、内容・事業数等が例年よりかなり劣る:2～0点		期待以上 15点	
2	施設管理状況 (25点)	(1)施設管理業務の実施状況 (10点)	①清掃	10	①チェック細目の丸数字の各項目を3段階評価する (適正(普通):2点、一部不備あり:1点、不備あり:0点) ②5項目の合計点とする。 ※駐車場は、期待以上:8点、適正(普通):6点、一部不備あり:4点、不備あり2点	仕様書に定められた以上に実施している。(資料③)	適正(普通) 2点	水槽のガラス・トイレなど目につきやすいところは意識して掃除するようにしている。	10点					
			②保守・点検			水槽については独自マニュアルを作成し、開館日に確認をしている。施設内外については、掃除のたびに目視で確認をしている。	適正(普通) 2点	適切に管理している。						
			③保安・警備			セキュリティ会社に夜間警備を委託。施設は複数人で確認をしている。施設外でイベントが開催されるときは必ず保安要員を残している。	適正(普通) 2点	適切に管理している。						
			④小規模修繕			なし	適正(普通) 2点	適切に管理している。						
			⑤危険箇所の把握(施設の瑕疵)			観察館の裏が生活道路になっており、地元の中学生等が通行するため、駐車や荷下ろしの際は気をつけている。	適正(普通) 2点	来館者だけでなく近隣住民にも配慮している。						
		(2)その他管理業務の実施状況 (15点)	①文書管理	15	①チェック細目の丸数字の各項目を4段階評価する (期待以上:3点、適正(普通):2点、一部不備あり:1点、不備あり:0点) ②5項目の合計点とする。	市の文書管理システムに準拠。	適正(普通) 2点	適切に管理している。	11点					
			②環境への配慮			公用車を運転する際はエコドライブに心がけ、環境に優しい運転をするようにしている。物品を購入する際は環境配慮した製品をなるべく購入するようにしている。なるべく使用できるものは工夫して長く使用している。	適正(普通) 2点	適切に行っている。						
			③バリアフリー			館内はバリアフリー対応。館内見学や川遊びなど、障がい者施設、療育センターを積極的に受け入れるようにしている。	期待以上 3点	個の障害を把握し、打ち合わせを通常より綿密に実施して、個々に対応できるようにしている。危険が多い外での体験学習で、障害者を受け入れることができることは評価に値する。						
			④備品管理			指定管理者・市・庄内川河川事務所の備品に分けて管理をしている。	適正(普通) 2点	適切に管理している。						
			⑤個人情報保護			イベントは中止の場合連絡するために、参加者の氏名、連絡先を控えているが、必要時のみ使用し目的外利用をしていない。また、パスワードのあるパソコンでデータは管理しており、パソコンを施設外に持ち出していない。	適正(普通) 2点	適切に管理している。						
			⑥事故等への対応			0	事故等への対応は減点対象とする(事故なし及び事故等の対応に不備なし:0点、事故等対応に不備あり:△1点)	なし		事故なし・対応に不備なし 0点	独自の危機管理マニュアルを作成している。	0点		
3	当該施設の経営状況 (5点)	①事業収支	5	当該年度の収入÷支出が、105%以上:5点、105%未満～100%:4点、100%未満:3点	収入÷支出=19,381,960円÷16,315,228円=118.8%(資料④)	105%以上 5点	【参考】 平成26年度:106.9% 平成27年度:110.3%	5点						
4	より良い施設運営のための取組 (30点)	(1)市民・利用者の声の反映 (15点)	①ニーズの把握・事業への反映	10	期待以上:10～8点、適正(普通):7～5点、不備あり:4～1点	適正(普通) 5点	イベント時に参加者の意見や感想を吸い上げる努力は評価できるが、昨年度の評価委員会で指摘した館内アンケートの実施が導入されていない。引き続きアンケートの導入を検討していただきたい。	5点						
			②苦情対応	5	期待以上:5点、適正(普通):4点、不備あり:3～1点 ※苦情なしは4点とする	苦情なし・適正(普通) 4点	なし	4点						
		(2)より良い施設運営・事業実施のための提案・姿勢、上記1～3の評価に反映されないその他の成果ポイント(15点)		15	提案、姿勢、その他の成果ポイント(アピール)が期待以上:15～12点、適正(普通):11～9点、普通未満～物足りない:8～0点	公共機関へのサポートは昨年度同様実施している。(資料②-4)積極的に公共事業前の環境調査や保護活動を実施し、公共機関・住民・自然団体の調整を行っている。	期待以上 14点	公共機関へのサポートは調査・保護活動以外にも、助言・調整・イベントへの参加を行っており、蓄積されたデータは貴重な資料となっている。平成28年12月に前館長が急逝されたが、実質的に館長が不在の期間もこれまでどおりの活動ができている。今まで前館長が担っていた調整役としても役割を今後も期待している。	14点					
5	その他 (減点方式)	(1)報告書類の提出状況	0	提出書類の遅れ・不備に応じて減点対象とする(遅れ・不備内容の程度により△1～△3点) 一部遅れ・不備あり(軽微):△1、一部遅れ・不備あり(中程度):△2、一部遅れ・不備あり(それ以下):△3	提出書類は期日までに提出されている。	遅れ・不備なし 減点なし	月次報告書は10日以内、年次報告書は1カ月以内に提出され、不備はなかった。	0点						
		(2)市からの指示等への対応(報告書類の提出以外)等	0	指示への対応等に応じて減点対象とする(対応等の内容により△1～△3点) 指示等なし・対応等が期待どおり:減点なし、対応等が期待以下(軽微):△1、対応等が期待以下(中程度):△2、対応等が期待以下(それ以下):△3	前館長の急死により、観察館の今後の体制を報告するように指示した。	対応等が期待以下(軽微) △1	平成28年12月に前館長が急逝し、今後の体制について報告を指示したが、年度途中ということもあり、館長代理を職員で充当し報告があった。人材については評価委員会でも指摘されていた点でもあるため、今後に期待する。	-1点						
合計				100	【4段階評価】 極めて良好 100～85点 良好 84～65点 努力が必要 64～45点 取消し等を検討 44点以下			全体的な評価 入館者数についてはほぼ横ばいの状況だが、企画参加者は今なお増加している。イベント内容も定着し、毎年恒例のイベントを楽しみにしている参加者も多い。前館長が急逝し、土岐川観察館の運営にも大きく影響したと考えられるが、館の運営については維持できている。前館長が多くを担ってきた調整役としての役割を今後も維持できるように期待する。	極めて良好					